

2024年2月NRI会合報告

1. イントロダクション

初回参加者の挨拶が中心

2. IGF2024 第1回公開協議とMAGにおけるNRI

(2024年2月27-29日、リヤドおよびオンライン)

- 主催者は、会議のアジェンダ(<https://intgovforum.org/en/content/igf-2024-first-open-consultations-and-mag-meeting>)を通じて参加者を案内した。
- MAG議長も会議に参加し、議論に参加した。
- LPとMAGは、NRIの強みを活かしたIGFの進め方について議論することが提案された。何ができるかを具体的にリストアップする必要がある。ホスト側からは、公開協議日の議論の中で、NRIsコーディネーターがこれらの提案を行うことが提案された。以下のような提案があった：
 - NRIは、各国・地域におけるアウトリーチ活動を支援し、国会議員や司法関係者、また、会期間作業や年次総会を含むIGFプロセスに様々なプロフィールの専門家を参加させることができる。この目的のためにデータベースを作成することができる。
 - NRIは、重要なメッセージ（GDCへの貢献、様々なIGF協議など）を地元コミュニティに広めることができる。
 - 例えば、主要なセッションに参加するために、あまり知られていない専門家を提案することで、IGFプログラムを刷新することができる。
 - NRIとIGF会期中作業との間に、明確な協力メカニズムを設けることができる。
 - 地域IGFからインプットを集めるPNMAの優れた実践から学ぶことを提案する。
 - PNMA共同議長およびNRIsフォーカルポイントは、この実践をNRIsメーリングリストに伝える。

- 2月20日、MAGは2024年のセッション間の作業を承認する。この決定はNRIsメーリングリストに伝えられ、参加するよう呼びかけられる。
 - 昨年の議員トラックが地域IGFとの協力を成功したことが想起された。
 - 京都で開催された第18回IGFにおいて、いくつかのDynamic Coalition (DC)がNRIとの協力を呼びかけたことを踏まえ、協力の可能性を探ることが提案された。
- NRIsの影響を測定し、NRIsの年次報告書をフォローアップする必要がある。
 - IGFの会議招集スケジュールは、NRIs会議との関係で難しい。今年の会合は時期が遅いので、NRIsの主要な成果をフォローアップするセッションを確保する良い機会になる可能性がある。この提案のために60分以上の枠を確保することを提案する。
 - リヤドでのMAG会合3日目のNRIからの最新情報については、NRI連絡係が、NRIの現在の記録について3~5分の概要を作成し、作業計画を提示する。この概要案は事前にNRIと共有し、NRIが検討する。

3. NRIsの2024年間作業計画実施のアプローチ

- 主催者は、合意されたNRIs作業計画を参加者に説明した。
(https://www.intgovforum.org/en/filedepot_download/21/26977) 議論の焦点は、作業計画の目標1、2、5、6、7であった。
- NRIはWSIS+20およびGDCプロセスに貢献することが奨励される。2月末までにCSTDアンケートに回答するよう、NRIのメーリングリストにリマインダーが送られる。
- NRIは、CSTD協議への意見書を準備している戦略に関するMAG作業部会に参加し、この取り組みに貢献するよう要請される。これに関する連絡はNRIメーリングリストに送られる。
- NRIはまた、IGFリーダーシップ・パネル「The Internet We Want (私たちが望むインターネット)」ペーパーに関する協議に3月1日まで貢献するよう求められる。NRIメーリングリストにリマインダーを送る。
- グローバルなプロセスへの貢献における優れた実践例として、バングラデシュIGFによるGDC協議への参加が評価された。

- NRI プロセスへの政府の参加不足に鑑み、NRI のパンフレットを更新し、議会と政府に説明することで合意した。
- すべてのステークホルダー・グループが NRI プロセスに参加するという概念に合わせた表現になっているため、政府を関与させるためのメカニズムとしてパンフレットが十分でないことを問題視する意見もあった。NRI の作業において、どのステークホルダー・グループが事務局の役割を担っているのかを理解し、関連するギャップを特定するために、地図を作成してはどうかという提案があった。
- いくつかの NRI は、NRI プロセスへの政府の関与に関する実践を共有した（例：タンザニア IGF は定期的に NRI プロセスに参加している）。北アフリカ IGF の事務局は政府機関であったが、現在はモーリタニアに移管されている。フランス IGF マルチステークホルダー組織委員会には規制当局が参加している。

4. その他

- マルチステークホルダーやその他の IGF の原則を支持する称賛に値する実践として、長期的な意義があると指摘した。
- (国連)NRI 担当者は、ホスト国(サウジアラビア)が国内 IGF の開催に関心を示していることを確認した。さらに、多数の参加者が、ホスト国が必要とする場合には、NRI の専門知識から指導や支援を提供する用意があることを表明した。

次回の NRI 会合は 3 月に開催される。メーリングリストを通じて、最適な開催日時を選ぶための投票が行われる予定である。